

吉本ばななの小説「キッチン」においての
性転換する「トランセクシャル」の原因を
異常心理学にて解析する

シェルリ ダニアルティ
0 5 4 2 0 2 5

マラナタ キリスト 教大学
文学部
日本文学科
バンドン
2 0 1 2

要約

序論

小説文学と言うのは作家の考え方をイメージすることである。「キッチン」は吉本ばなの作った小説である。1987 年に出版された小説である。

その小説で桜井みかげと言う女の人のことを話している。桜井みかげさんは独身で、全ての家族は死んでしまった。彼女は台所のことが好きである。そして、彼女はえり子さんのご家族さんと一緒に生活している。その新しい家族に一人の男の人がいる。その男の人は女の人に性転換（トランセクシャル）をしている。この論文は 性転換する（トランセクシャル）の問題について文析するつもりである。

この論文の問題を分析するため、心理学の解析の記述法を使っている。解析の記述法と言うのは証拠を集めて、その問題を述べて、後で文析することである。本研究の目的は「キッチン」という小説の性転換する（トランセクシャル）の理由を調べることである。性転換する（トランセクシャル）後に、生活はどんなようになるでしょうかと分析するつもりである。

本論

バックナー（1976：597）によると、性転換する（トランスセクシャル）はジェンダーの個人性の異常（*Gender Identity Disorder*）の一つである。ある人間は間違っただけに閉じ込めている感情を感じ、性転換手術にて生物学的の個人性を転換させる。

「キッチン」の小説の一人の登場人物は「えり子」という女の人。トランスセクシャルに性転換するもともとは彼は父親の役割をしている。えり子の男性から女性に個人性の転換は生まれたときからの精神的な現象ではなく、愛しい妻が亡くなることにより発生した空いている心及び寂しさが溜まらない為である。

えり子が環境に嫌われていると思ってしまったため、環境の変化だけではなく、恒久的な個人性の変化を感じてしまった。個人性の変化になる過程は「自分を完全に女性に転換したい」という意志にて示す。

えり子がトランスセクシャルになることは多少の要因により、影響をもらう。つまり：

a. 下記の様な環境の要因：

- 愛しい人の死亡（妻）
- 親戚から心の支えがないこと。
- 自分の心をより塞ぐことになる、回りの環境を無視すること。

b. 下記の様な個人の自己意識の要因：

- シングルペレンになることに脅える要求不満
- 子供を育てる為に大変なシングルペレンとして父親の存在の困難
- 母親の存在は父親の存在より重要であることの考え方
- 愛しい妻以外のものを愛することが不可能という考え方。
- 自分を女性になることのメリットとして泣くことが許される（男性が泣くことがありできないと思われる為）という考え方。

トランセクシャル になった以来、えり子は自分の決断による発生する影響を感じてしまった。えり子がトランセクシャルになった社会的の人生の影響は下記のとおりである：

a. えり子が直接感じる影響：

- 男性の習慣が女性の習慣になること。
- 前の性別を証明する書類が支障となり、仕事に就く機会が狭くなること。このことにより、えり子はトランセクシャルの集団用の「ゲイバー」を開店する。
- 回りの人に認められなくなるを感じる為、心を塞ぐ。孤独であるえり子は、子供との人生、トランセクシャル同士との人生以外の世間を完全に無視する。

b. えり子が直接感じていない影響：

- 子供が自分を「お父さん」から「お母さん」と呼ぶことになる調整で

ある。このことは無意識で、父親であるイメージを母親のイメージにする。この状況はえり子の子供に完全に納得されていないが、えり子の子供は納得してふりをしている。

- えり子の過去を知らず、新しい人間を認めてくれる社会。しかし、男性であった過去がばれた時点において、殺されることにより自分の命がなくなることという定めを受けることになる。この殺害は、えり子が男性であったことに対する最も極端な一つ社会の集団の行為である。

結論

- ✓ 配偶者が亡くなることは人間に空いている気持ち（無感覚）を感じさせる。この段階においては、社会の支え、特に親戚の支えは無くなった人に死別された人間の空いてしまった心を再び詰める為に、非常に重要なものである。
- ✓ えり子が妻を失い、トランスジェンダーになる意志に従う際、周りの人の支えをもらっていなかった。
- ✓ ある人が性転換をすることが必ず社会からの反応を及ぼす。この反応も良い反応及び悪い反応に区別できる。良い反応は性転換する決断を納得し、尊敬する。逆に、悪い反応は騙されることにより、トランスジェンダーに対する強い拒否である。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR	i
DAFTAR ISI.....	v
BAB I : PENDAHULUAN.....	1
1.1 Latar Belakang Masalah	1
1.2 Pembatasan Masalah.....	4
1.3 Tujuan Penulisan	4
1.4 Pendekatan.....	5
1.5 Organisasi Penulisan.....	10
BAB II : TRANSEKSUAL MENURUT TEORI PSIKOLOGI	
ABNORMAL	12
2.1 Psikologi Abnormal.....	12
2.2 Transeksual.....	15
2.2.1 Penyebab Terjadinya Transeksual	19
2.2.2 Perilaku Transeksual.....	26
BAB III : TRANSEKSUAL DALAM NOVEL “KICCHIN”	
KARYA BANANA YOSHIMOTO	29
3.1 Transeksual pada Eriko	29
3.2 Faktor Pendorong Tokoh Eriko Melakukan Transeksual.....	33
3.2.1 Faktor Lingkungan.....	33

3.2.2	Faktor Ego Individu	38
3.3	Dampak Kehidupan Sosial Tokoh Eriko Setelah Melakukan Transeksual	39
3.3.1	Dampak Terhadap Diri Sendiri	40
3.3.2	Dampak Terhadap Lingkungan	44
BAB IV	: KESIMPULAN	48
DAFTAR PUSTAKA		
SINOPSIS		
LAMPIRAN		
RIWAYAT HIDUP PENULIS		